



新年のご挨拶



社会福祉法人 土佐希望の家

理事長 門田 正坦

土佐希望の家並びに幡多希望の家の利用者の皆さん、ご家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、両施設の運営にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新年早々、能登半島地震があり、更に豪雨で2度の被害を受けられるなど、復旧復興には大変なご苦勞をされたことと思います。心からお見舞いを申し上げます。

4月には、豊後水道を震源とする宿毛市で震度6弱の地震、8月には日向灘を震源とする地震があり、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が初めて発令されました。

1週間ほどで巨大地震への注意は解除となりましたが、土佐・幡多両施設の備蓄品、自家発電、通信手段など、災害対応を総点検し、新たに職員の安否確認・参集システムを導入するなど、更なる災害への備えを進めてまいります。

幡多の移転改築は、候補地を協議中であり、移転改築の具体が、できるだけ早く進むように取り組んでまいります。

土佐の1・2病棟大規模修繕は、10月に完了し、内外装と空調の更新、感染対策室の整備など、利用者の皆さんに、日々快適に過ごしていただけるよう、環境の改善が図れたと思います。

新型コロナウイルスについては、7月から9月にかけて3つの病棟と通所でクラスターが発生し、罹患者は利用者84人、職員44人、病棟閉鎖は75日間となりました。利用者の皆さんが、順調に回復するように努めたところです。

こうした中でも、病棟閉鎖の期間はできるだけ短くし、短期入所や面会の再開に努め、秋には、冬場に備えて、コロナとインフルエンザのワクチン接種を行いました。

10月に土佐で、11月には幡多で、希望の家祭を、久しぶりに、ご家族とボランティアの皆さんの参加を得て、開くことができました。利用者さんのたくさん笑顔がみられて、大変よかったです。

次は、地域の方の参加も得て、盛大に開催できるようになればと思っております。

コロナで活動の制限が長らく続いていましたが、制限も徐々に少なくなっていますので、利用者の皆さんの日中活動が充実するように、職員一同努めてまいります。

ご家族の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本年が、ご利用者、ご家族の皆様にとって、いい年でありますように、お祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

令和7年 元旦

成人式

10月27日、吉本裕香さん、土居千夏さんの成人式が通所ホールで行われました。お二人ともドレスワンピースがとてもお似合いで素敵でした。

当日は、福留常務理事、保護者会長、若草特別支援学校の校長先生よりご祝辞を頂いたのち、お二人のこれまでの20年の歩みをスライドショーで振り返りました。その後は、皆で「栄光の架け橋」を歌い、門出のお祝いに餅投げならぬお菓子投げをしました。とても嬉しそうで笑顔が多く見られました。

これからも人との出会い・繋がりを大切にし、元気に過ごせるよう心より願っております。裕香さん・千夏さん祝成人本当におめでとうございます。

1病棟 生活支援員 久保貴嗣



11月10日、東山奏太さんの成人式が3病棟東ホールで執り行われました。当日はお母様と妹さん2名も出席され、奏太さん自身もスーツをビシッと着こなし颯爽とした姿を見せてくれました。

新成人紹介、来賓紹介の後、祝辞では小田切常務理事、保護者会長、武政看護部長、若草特別支援学校の校長先生よりそれぞれお祝いの言葉を頂き、続くスライドショーでは奏太さんの20年間の歩みを25枚の写真で振り返りました。

奏太さんは小さい頃からハンサムだったんですね。次に武政看護部長より記念品と花束の贈呈が行われ、記念品は奏太さんの大好きなごきげんなナンバー「そよ風スニーカー」を聴く為の真っ赤に輝くCDラジカセでした。最後にお母様より挨拶を頂き、成人式は無事終了しました。奏太さん、祝成人本当におめでとうございます。

3病棟 生活支援員 山本享史

2024 希望の家祭を開催しました!

久しぶりに開催された、希望の家祭はいかがでしたか?

今年度の希望の家祭では、保護者さんやOB・OG・ボランティアの方の参加もあり、いつもと違った雰囲気楽しかった利用者さんやびっくりされた利用者さんも居るのではないのでしょうか。笑顔があふれた希望の家祭になって良かったと思います。

私自身も他病棟の利用者さんの喜んでいる姿を見て、とても嬉しい気持ちになりました。実行委員長を引き受けた際は、不安な気持ちがありました。実行委員・職員や保護者の皆様の協力もあり、無事に終わることができました。至らないことも多々ありましたが、実行委員長という貴重な経験ができ引き受けて良かったです。

今回、良かった点や反省点を活かし、来年度の希望の家祭に繋げていけたらと思います。本当にありがとうございます。

希望の家祭 実行委員長 松岡真歩







修学旅行に行ってきました！



1病棟 橋村 育未さん

11月6日～11月8日の2泊3日で愛媛県・香川県へ修学旅行に行ってきました。

出発式では、少し緊張した面持ちの様子でしたが、待ちに待ったバスに乗り込むと表情にも笑顔が見られていました。初日は、愛媛県総合科学博物館で様々な展示物を眺め研修した後、プラネタリウムを鑑賞され真っすぐな眼差しで研修されていたのが印象的でした。

2日目は、愛媛県にある『とべ動物園』へ行きました。普段見る事の無いような様々な動物を見て楽しんでいました。

3日目は、香川県にある『四国水族館』へ行きました。イルカショーを見て楽しみ、海の生き物を見て不思議そうに見つめる場面もありました。そして、3日間を通して何より育未さんが喜ばれていたのが食事です。各所での豪華なお食事を美味しそうに頬張っている表情がとても心に残っています。育未さんご両親が笑い合ひ、楽しく修学旅行を終えることができました。

1病棟看護師 横山竜弥



2病棟 山内 空さん

10月31日から2泊3日の修学旅行に行ってきました。安芸市内原野陶芸教室でお母さんと一緒に手びねり体験をしたり、海辺の果樹園では教頭先生とプールに入っ
て楽しみました。夜はお母さんと先生と布団でぐっすり休みました。

2日目は雨でしたが桂浜水族館を鑑賞し、新阪急ホテルでおいしい昼食を食べて帰ってきました。楽しい思い出がたくさんできた就学旅行になりました。



花火大会



9月20日、施設全体の行事として花火大会が行われました。正面玄関に集まって手持ち花火などを楽しみ、ナイアガラ花火では大きな歓声があがっていました。



クリスマスボランティヤ



12月19日、南国市の森崎智さんより利用者さん全員分としてプリンをいただきました。早速お昼ごはんに皆さんに提供できました。また当日の夕方にはクリスマスの讃美歌を歌っていただき、一足早いクリスマスを感じることができました。ありがとうございました。

12月25日、南国教会の方が来られました。コロナ禍で中止されていたため、数年ぶりの再会に利用者の皆さんも嬉しそうでした。これまでのように聖書を読んだり、一緒に讃美歌を歌ったり充実した時間を過ごすことができました。



森崎 智さん



通所 ロードレース大会

11月4日～15日まで通所ロードレース大会が開催されました。事前にタイムを測り予想タイムにいかに近づけるのが勝負のポイントです。何度も担当職員と一緒に真剣に練習に励む利用者さんの姿も見られとても印象的でした。

またタイムと同様に取り組んだのは仮装です。利用者さん何を着たら可愛いのか、かっこいいのか、面白いのか話し合っ
て決めた仮装に拍手と笑いが起こりました。当日ハンデカード（+30秒・+1分・-30秒・-1分・±0）を引きスタート。応援する利用者さんも熱が入ります。歓声のもと、皆さん無事ゴールすることが出来ました。

結果は1位横山和輝さん、2位尾崎白さん、3位濱口紗奈さん、そして仮装大賞はドナルドダックに扮した田内琉己さんでした。
みなさんお疲れさまでした。



リハビリ室くまのいき

こんにちは、言語聴覚士の穂崎です。今回はPT（理学療法）室で行っている『ピンポン玉とぼし』を紹介します。ピンポン玉とぼしは利用者さんが自力で遊べる簡単な遊具です。リハビリ助手の濱田さんが「利用者さんみんな楽しんでいたら」との思いで作成されました。
発射台を使ってピンポンをとぼしてカップに入れたり、的当てをして点数を競います。利用者さん各々の持っている力を発揮して、どんな方でも参加できるように工夫して作られています。
昨年7月から大会を開いていて、どなたでも参加できます。



わたしの仕事

3病棟看護師 十万 悠

自分の仕事は、3病棟で利用者さんの毎日の検温や入浴などのケアを通して利用者さん達の体調変化はもちろん、心の変化にも気を配る仕事です。



3病棟では、あまり医療的なケアは多くありませんが、最近では利用者さん達の年齢に合わせ食事内容や介助の仕方・排泄介助の方法など少しずつ日常生活の中で変化もあり、医療的なケアも少しずつ増えてきたように感じます。

その色々な変化の中で、先輩看護師さん達は利用者さんや家族の気持ちを考え、暖かいケアができています。そんな先輩方を見習い、自分の未熟な部分を見直し、利用者さんや家族さんが3病棟で心温まる気持ちになれるよう精進していくことが自分の仕事だと感じています。



ご寄附 12月末まで

小林豊様

加藤魁彦様

松田貞美様

矢野文男様

大野由美様

長博雪様

高知友の会様

大篠地区社会福祉協議会様

大前田商店様

前田久様

森崎智様

竹崎久恵様

小松典子様

米山有里様

大野ヤエ様

江口順様

福原公二様

高知県市町村職員互助会様

福本祥久様

宇野久二夫様

宇野薫様

南国教会様

高野プロパン株式会社様

田中善稔様

職員一同お礼申し上げます。

1病棟

1病棟では、月に1回の1日外出と午後からのドライブ外出を3回行っています。10月11日午後の外出では、北村温さん、窪野由起さんと職員3名で空港近くまでドライブ外出をしました。

青空のいいお天気でトリム広場前の堤防に降りるときれいな海が広がり、海からの風を受けてみんなとても気持ち良さそうでした。北村さんはカフェオレ、窪野さんはジュースを飲まれて休憩をしていると、海の前から飛行機が近づいて来て大きな機体が横を通り過ぎて行きました。突然の出来事にびっくりしました。短時間の外出でしたが、みんな楽しい時間を過ごす事が出来ました。

(看護師 西村佐智)



2病棟



2病棟では10月に、岡本美紀さん、武田麻里さん、光富万利子さんの3名が還暦を迎えられ、お祝いの式典が行われました。そこではスライドショーや職員からの歌などもあり、他の利用者さんも参加され、祝福ムードに包まれた還暦祝いでした。

3人共赤い洋服が似合っていて、表情も穏やかでとても良いお祝いになりました。スライドショーでは昔の姿を見てご家族がうなずかれる姿もあり、感慨深そうに見守られていました。3人の方々はとても有意義な時間を過ごされている様子でした。

(看護助手 岩本法子)

3病棟

3病棟では今回色々行っている取り組みの中からカルチャークラブを紹介します。カルチャークラブでは毎月創作3週、写真を1週として取り組んでいます。その中でも創作では季節に合ったテーマで利用者さんに描く・貼る・塗るなどの作業に取り組んでいただいています。

10月のカルチャークラブではテーマを「～希望の秋～」として、利用者さんの手形で紅葉の葉を作ったり、トンボとミノムシのキットにお好みにパーツを貼りつけていただく作業をしました。みなさんとても楽しそうに作業されていました。あざみ棟ホールでは出来上がったトンボとミノムシが飾られ、秋を感じさせてくれていました。

(生活支援員 竹田夏奈子)



通所

12月7日、通所ホールにてクリスマス会が開催されました。「今年はどうなダンスが見られるんだろう？」と利用者の方も興味津々。開始早々サザエさんダンスを披露すると、皆さん笑顔がこぼれていました。次に、ボランティアの方によるジャズの生演奏。利用者の方とそのご家族、職員も聴き入っていました。その他、ゲームやハンドベル演奏など、利用者参加型のコーナーを楽しみました。最後は、サンタさんから利用者の方にクリスマスのプレゼントが渡されると、皆さんニコニコ笑顔で記念撮影。

無事クリスマス会を開催することができてよかったです。ありがとうございました。『また来年会いましょう～ほっほっほ』

by サンタ



家族の窓



2病棟 小松 光希様
保護者 小松 典子様

希望の家の隣にあります土佐希望の家分校高等部2年の4月に入所し、2病棟でお世話になっております小松光希です。光希が私ども夫婦の所に来てくれたのは結婚して9年目でしたが、妊娠・出産と大変な事ばかりで、妊娠中はほぼ入院生活。出産も緊急帝王切開になり、ようやく会う事ができました。

体重は2220kgと低体重で、先生からは「全ての機能が：」と言われて泣く日々でした。自宅に戻って来てからも、何故？何が起きているの？と思う事ばかりで、0〜5才までの間に耳・両手・足の指の3大奇形（多指症含む）、喉頭軟化症、胃食道逆流、停留精巢、側弯症になり、1才半の時に脳性マヒだと言われました。

5才のクリスマスには胃食道逆流症がひどくなり、右肺が無気肺となり、一言二言喋り始めた所でしたが、緊急の気管切開となり、翌年5月には喉頭軟化症と喉の奇形で気管へのたれ込みが原因で気管切開した後1日5〜60回の吸引が必要となったため、喉頭気管分離術をして、声が全く出せない状況となりました。

これからどうやってこの子と生きていこうと思った矢先に光希の腕が伸びる事が分かり、その当時市営の保育園に通っていたので、光希個人に看護師さんを付けて欲しいとお願いし、それまでもお世話になっていました高知医大のリハビリの先生方のご尽力と看護師さんのおかげで「はい・いいえ」

を「タッチ」で表現できるようになりました。又、光希は人に話しかけてもらうのが何よりも大好きで、「お母さんどうしたら人が僕に話かけてくれる？」と聞いてきたので、いつでも笑顔で居てごらん、笑っていたら人が来てくれるかもね？と毎日言い続けてみました。すると、どこにいても笑顔を見せてくれるようになり、皆さんに声を掛けてもらうようになりました。

小学部入学時に当時の希望の家の先生より、「この子は14才まで生きれたら上等だからね。」と言われ頭が真っ白になりました。ただ、この言葉が私に火をつけ、それ以上に頑張つてやる!!と。

中学部に入ると、てんかん発作が始まり、更には胃ろう造設、側弯症も肺上部での側弯で呼吸もしんどくなったり、側弯での痛みも増えたりしましたが、持ち前の光希の頑張りとおりの皆様のお陰で幾度の救急搬送も乗り越える事ができました。高知医大小児科の先生方のすすめもあり施設入所を決断し、2年待っての入所でしたが、2020年4月コロナパンデミックの頃で全く会えない期間が3〜4か月あり、その後は窓越し。最近では毎日会えるようになり、夫先生始め、2病棟の職員の皆様のお陰もあり、昨年20才を迎える事ができました。現在21才で光希には身体のしんどさはありません。笑顔で楽しく過ごしてあげたいと思います。これから施設職員の皆様宜しくお願致します。



お悔み申し上げます

| | | |
|---------|------------|-----|
| 宇田 多一 様 | 令和6年9月11日 | ご逝去 |
| 矢野 浩一 様 | 令和6年9月15日 | ご逝去 |
| 横井 元 様 | 令和6年12月12日 | ご逝去 |

編集後記

去年の一月にテレビニュースを見ていると、家族の写真が見つかったんです。といった映像が今でも忘れられず、めったに見返さない家の写真を見返して、写真はいいな〜と思い、写真を見返す機会になればという思いも込めて、今回の通信は写真をいつもより少し多く掲載しました。皆様にとって良い年でありますように。本年もよろしくお願いたします。